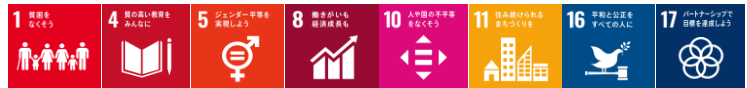


いいだ未来デザイン 2028 後期計画 原案
後期計画に定める基本目標(案)
－ 後期4年間の取組の方向性 －

令和6(2024)年9月
飯田市

目次

	基本目標	マネジメント リーダー	頁
基本目標1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる	市民協働環境部長	…………… 1
基本目標2	人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる	危機管理部長	…………… 5
基本目標3	ここ飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる	こども未来健康部長	…………… 9
基本目標4	自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる	ゼロカーボンシティ担当参事	…………… 13
基本目標5	誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる	産業経済部長	…………… 17
基本目標6	誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる	福祉部長	…………… 21
基本目標7	リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる	リニア推進部長	…………… 25



基本目標 1

市民が将来にわたり地域に 誇りと愛着を持てるまちをつくる

ねらい

- 市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、住民一人一人が地域課題に関心を持ち、まちづくりに参画します。
- すべての市民が主役として、飯田に住み続けたいという思いを持ち続けます。
- 自分たちの地域は自分たちでつくる「ムトスの精神」によるまちづくりを進めます。
- 地域と行政が一体となって、関係人口づくりや移住定住を推進することにより地域振興を図ります。
- 誰にとっても住みやすい多様な文化や価値観を認め合う地域社会をつくります。
- 市民が集い・憩う、交流や賑わいが創出される魅力的な丘のまちを形成します。

戦略(考え方)

- ◆ 20地区の基本構想・基本計画の実現に向けて、地域のつながりを基盤にした持続可能なまちづくりの取組を支援します。
- ◆ 地域の問題や関心事について、学習活動や実践活動など住民が主体的に課題解決に挑戦できる環境を整備し、地域を支える多様な人材の育成につなげます。
- ◆ 未来の担い手である子どもたちにとって「将来も住み続けたいまち」であるため、地域全体で子どもを育む様々な取組を行います。
- ◆ 20地区がそれぞれの多様な地域資源を活用し、魅力ある地域づくりに取り組むことで、関係人口の創出・拡大から移住定住を目指す「20地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進めます。
- ◆ 移住定住の推進に向けて、まちづくりの原動力となる若者に「選ばれる地域」となるための様々な取組を全市的に展開します。
- ◆ ムトスの精神による市民活動の輪を広げ、市民活動団体やNPO法人等による市民や地域が元気になる取組を支援します。
- ◆ 国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を「豊かさ」として生かし、共に支え合い、共に生きるために、お互いに理解し合う場や、多様な活動を支援します。
- ◆ 伝統文化や人形劇など文化の継承と発展、新たな文化を創造する集いの場としての文化会館の整備に向けた取組、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。
- ◆ 歴史と魅力ある施設や空間を生かし、多様な主体と連携・協働しながら、りんご並木を軸としたまちの賑わいづくり、歩いて楽しめるまちなかづくりを進めます。
- ◆ 市民や事業者と共に地域資源の価値を磨き、また、新たな魅力を想像し、発信することにより市のブランド化や認知度の向上を図り、市民が共感を持てるプロモーション活動を展開します。
- ◆ 20地区が行う地域振興等に係る取組に関し、デジタル技術を効果的に活用し、関係人口の創出・拡大を図ります。

想定する進捗状況確認指標、重要業績評価指標

指標 ①	これからも飯田市に住み続けたいと思う市民の割合
指標 ②	地域に誇りや愛着がある市民の割合
指標 ③	飯田の「ムトス」という言葉を知っている市民の割合
指標 ④	後期期間中にまちづくり委員会の組織・事業の見直しを行った地区数
指標 ⑤	自治活動組織への加入率
指標 ⑥	後期期間中に組合加入促進コーディネーター活動により組合加入に至った件数
指標 ⑦	子どもたちの地域の課題解決への意欲
指標 ⑧	子どもたちが身に着けた生きる力
指標 ⑨	新規移住相談件数
指標 ⑩	U I ターン移住者数
指標 ⑪	20地区応援隊寄附件数
指標 ⑫	市民活動・地域活動に参加している市民の割合
指標 ⑬	ムトス助成事業支援件数
指標 ⑭	他地域(外国人を含む)からの人を受け入れる市民の割合
指標 ⑮	審議会委員等女性登用調査
指標 ⑯	文化芸術活動に参加している市民の割合
指標 ⑰	歩行者・自転車通行量
指標 ⑱	市営駐車場利用台数
指標 ⑲	VisitIDA.COMサイトユーザー数
指標 ⑳	飯田市ブランド推進係Xフォロワー数
指標 ㉑	飯田プロモーションInstagramフォロワー数

想定する主な取組

想定する主な取組のイメージ	担当・関係課等
<p>◇ 20地区の基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の自治活動の推進</p> <p>(1) 20地区基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の取組を支援します。</p> <p>(2) 地域を取り巻く環境や時代の変化に対応していくため、各地区が行う自治活動組織の改革改善、事業の見直しなどの取組を支援します。</p> <p>(3) 中山間地域が元気であり続けるための取組を進めます。</p>	<p>地域自治振興課 共生・協働推進課 結いターン移住 定住推進課</p>
<p>◇ 持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援</p> <p>(1) 地域の自然、歴史、文化など地域を知り理解を深める学習や、住民の課題意識や関心事に応える学習など、住民の主体的、協働的、探究的な多様な学びや実践を支援します。</p> <p>(2) 自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあっていくための力を育み、ふるさとを心根においた未来の地域の担い手や地域を支える人づくりを進めます。</p> <p>(3) 大学の研究者などが持つ専門的な知見を生かして地域の資源や特徴を見つめ直し、地域が持つ価値や魅力の再発見、再認識につなげます。</p>	<p>公民館 生涯学習・スポーツ課 文化財保護活用課 歴史研究所 美術博物館 中央図書館 学校教育課 大学誘致連携推進室</p>
<p>◇ 「結い」による移住定住の推進と協働による関係人口の創出</p> <p>(1) 対面やオンラインによる情報提供と相談支援を行い、人と人、人と地域をつなぐ橋渡しを行い、移住者の増加につなげます。</p> <p>(2) 市内事業所及び地域住民と連携し、「仕事を知り、人に触れ、地域に関わる」結いターンシップ事業を実施します。</p> <p>(3) 地域や事業者等と連携し、空き家を活用するなど、移住者の住まいの確保を支援します。</p> <p>(4) 移住コンシェルジュや地域住民と連携し、全市的に移住者の受入れと定住に向けた暮らしの支援を行います。</p> <p>(5) マッチングシステムやSNS等による情報発信力の強化を図り、「20地区田舎へ還ろう戦略」と連動して、地域との出会いや関係性を深める取組を進めます。</p> <p>(6) 官民連携による地域課題の解決に向けた取組により、都市部の若者と地域住民の交流による関係人口の創出につなげるとともに、地域プレイヤー^{※1}を育成します。</p>	<p>結いターン移住 定住推進課 地域自治振興課</p>
<p>◇ ムトスの精神による市民活動やソーシャルビジネス(地域課題解決型事業)の輪を広げる</p> <p>(1) 自治の力を強化するため、地域を自らより良くする活動や事業を支援し、継続性のある事業化を促進します。</p> <p>(2) 既存の資源(人材、研修会、組織やネットワーク等)を最大限に生かし、公益的な支援組織(県、商工会議所等)との連携体制をつくりまします。</p>	<p>共生・協働推進課</p>
<p>◇ 国籍、性別や世代などの違いによる多様な価値観を互いに認め合う地域社会をつくる</p> <p>(1) 国籍や文化の違いなど多様な人材が、それぞれの個性と能力を発揮し活躍できるよう支援します。</p> <p>(2) 人生100年時代の到来と人口減少社会において、シニア世代の活躍により地域を支える機会を創出します。</p>	<p>共生・協働推進課</p>
<p>◇ 市民による文化芸術の創造と生涯にわたってのスポーツの振興</p> <p>(1) 人形劇をはじめとする文化芸術への市民の関わりが活発になるよう支援します。</p> <p>(2) 文化芸術活動を主体的に行う市民を増やし、文化芸術の創造へつなげます。</p> <p>(3) 新文化会館の基本構想の実現に向けた取組を進めます。</p> <p>(4) 多くの市民がスポーツに触れる機会を提供するとともに、スポーツ習慣の定着に取り組みます。</p>	<p>文化会館 新文化会館整備室 生涯学習 ・スポーツ課</p>
<p>◇ 中心市街地の賑わいのあるまちづくり</p> <p>「憩いや集いのステージとなるりんご並木」の形成を目指し、社会実験等の取組を踏まえたまちなかづくりを進めるとともに、多様な主体の参画により、中心市街地への誇りと愛着の醸成を図ります。</p>	<p>商業観光課</p>
<p>◇ 地域への関心を高め、効果的な情報発信</p> <p>(1) 動画コンテスト・SNS投稿キャンペーンや大学生とのプロジェクトなどにより、若者視点による新たな地域資源や魅力の掘り起こしに取り組みます。市民や事業者とともに、SNSや動画、メディアによる情報発信や参加型イベントなどにより、多くの主体が関わることで地域への関心を高めます。</p> <p>(2) 市民、事業者と共に飯田のブランド力向上に向け、多くの媒体によるターゲット層に応じた効果的で魅力的な情報発信につなげます。</p>	<p>広報ブランド 推進課</p>

※1：地域プレイヤー

地域に興味を持ち、魅力を感じ、地域住民と関係を深め、地域課題の解決や地域資源の活用等に対して、能動的に活動し、地域にとって必要な存在となる人のこと



基本目標 2

人がつながり助け合い、社会基盤を強化して
安全・安心なまちをつくる

ねらい

- 日頃から住民同士が助け合うことのできる地域づくりを進めます。
- 地域での「助け合い」を土台とした、安全・安心な暮らしを実現します。
- 自助・共助・公助それぞれの重要性を認識し連携することで防災力を高めます。
- 暮らしを支える社会基盤の強靱化等を進め自然災害に備えます。

戦略(考え方)

- ◆ 安全・安心な暮らしの実現に向けて、人と人とのつながりを広めて「地域の力」を高めていくとともに、地域のことを地域で考える主体的なまちづくりを支援します。
- ◆ 「自助」の大切さを市民一人一人が認識できる取組を進めます。
- ◆ 災害発生に備えた環境整備をはじめ、防災学習や地震被害想定調査結果を踏まえた対策の検討など公助の取組を更に推進します。
- ◆ 地域とともにある消防団の組織体制を整備するとともに、消防力・防災力の維持・向上を図ります。
- ◆ 安心して暮らすために、日常における市民の防犯意識の高揚をはじめとする犯罪被害防止の取組を進めます。
- ◆ 安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を計画的に進めるとともに、自然災害に備え防災・減災・強靱化を図ります。
- ◆ 平時におけるデジタルコンテンツを活用した防災学習や大規模災害時に備えた防災DXに取り組みます。

【参考】基本目標と戦略(考え方)に基づく進捗状況を確認するための指標等及び主な取組(案)

想定する進捗状況確認指標、重要業績評価指標

指標 ①	防災訓練・防災学習会への参加人数
指標 ②	災害に備え食料を備蓄していると回答した市民の割合
指標 ③	個別避難計画の策定割合
指標 ④	刑法犯認知件数
指標 ⑤	準用河川の危険個所の整備率
指標 ⑥	橋梁長寿命化修繕工事の完了数
指標 ⑦	人身交通事故の発生件数

想定する主な取組

想定する主な取組のイメージ	担当・関係課等
<p>◇ 日常の地域自治活動を通じた地域住民の顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化</p> <p>日常の自治活動を通して住民同士のつながりを深め、災害時にも互いに助け合えるよう共助の意識向上を図ります。</p>	<p>地域自治振興課 公民館</p>
<p>◇ 市民一人一人の防災意識の向上、助け合いによる地域防災力の強化とそれらを支える公助の取組の推進</p> <p>(1) 無料耐震診断・耐震改修を促進するほか、建物内の安全性を高める対策、非常持ち出し品の準備、防災アプリを活用したわが家の避難計画づくりが進むよう自分自身や家族を守る意識の向上を図ります。</p> <p>(2) 各地区の防災訓練がより実践的になるよう支援するとともに資機材の充実を図ります。</p> <p>(3) 避難行動要支援者が、地域の協力を得ながら安全に避難できるよう関係機関と連携し個別避難計画の作成を進めます。</p> <p>(4) 多様な要配慮者が避難できる福祉避難所の確保を進めます。</p> <p>(5) 各地区の状況にあわせた地区防災計画の見直しにつなげるため、市内20地区ごとの地震被害想定調査を進めます。</p> <p>(6) 避難のあり方検討会や学習会等を開催し、市民の防災・減災意識の向上を図ります。</p> <p>(7) 大規模災害時における迅速な被災者支援に向けてデジタル技術の活用を検討します。</p>	<p>危機管理課 福祉課 長寿支援課</p>
<p>◇ 飯田市消防力(消防団)整備計画に基づく地域消防力の維持・向上</p> <p>(1) 大規模災害時に地域の防災拠点にもなる詰所について、女性団員への配慮に加え平常時には団員の教育・訓練・会議の実施場所として、安全に活動できる施設となるよう順次整備を進めます。</p> <p>(2) 地域消防力の維持・向上のため、消防車両等の資機材の計画的な整備を進めるほか、団員の負担軽減に向けて必要な訓練を精査し実践的かつ効果的な取組を進めます。</p> <p>(3) 団員の処遇改善や各種資格取得への助成などにより消防団活動の魅力を高めるとともに、地域の理解と協力を得ながら団員確保に努めます。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>◇ 犯罪被害防止と消費者トラブルの未然防止</p> <p>(1) 警察をはじめとする関係機関と犯罪被害防止の啓発等に取り組むとともに、地域の協力を得ながら防犯パトロール、街頭啓発活動等を進めます。</p> <p>(2) 消費者トラブルを未然に防ぐため、ライフステージに応じて関係機関等と連携した取組を進めるとともに、相談窓口である消費生活センターにおいて市民の消費生活をサポートします。</p>	<p>市民課 危機管理課</p>
<p>◇ 安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化対策と強靱化、生活道路の安全対策をはじめとする交通事故抑止</p> <p>(1) 激甚化・頻発化する自然災害に備え、市民が安全に避難場所へ避難できるよう緊急避難路等の整備を推進します。また、市道（橋りょうや舗装を含む）、水路及びため池等について計画的な更新や修繕等の長寿命化対策を進めます。</p> <p>(2) 準用河川の危険箇所について、緊急度の高い箇所から計画的に河川改修やしゅんせつなど防災減災対策を進めます。</p> <p>(3) 重要なライフラインの一部である上下水道施設について、経営戦略に基づいた計画的な更新整備を進めます。</p> <p>(4) 地区要望に対する安全施設整備を緊急性及び危険性の高い箇所から進めます。</p> <p>(5) 交通安全運動期間中の各種啓発活動や交通安全教室などにより交通安全意識の高揚を図ります。</p>	<p>土木課 維持管理課 地域計画課 水道課 下水道課 下水浄化センター 危機管理課</p>



基本目標 3

ここ
飯田で育ってよかった・育ててよかったと
実感できるまちをつくる

ねらい

- ここに住んで(就職して、家庭を持って)よかった、ここで子どもを育ててよかったと実感できるまちづくりを進めます。
- 子ども・若者が地域づくりに主体的に関わることで自己有用感、自己肯定感を感じることができようになります。
- 子どもにとって家庭は最初の学校となるよう親も一緒に育ち、子どもの成長をみんなで喜び、家庭が一番安心できる環境づくりを地域全体で進めます。
- 子ども・若者が自分らしく生き、健やかに成長し、未来を描き実現に向けて生き抜いていける力の基礎を育みます。

戦略(考え方)

- ◆ 子ども・若者の意見を聴き、大人も一緒に考え、実現することで、自己有用感や自己肯定感を感じることができ、積極的に物事に関わろうとする文化、風土を醸成します。
- ◆ 子どもが欲しいと望む時から、妊娠、出産、育児・子育ての心配や不安など個々のニーズに寄り添い、子育てが楽しめるよう、継続した効果的な相談・支援に取り組みます。
- ◆ 自然や文化・芸術に触れ、体験や経験、地域との関わりを持ちながら、子どもの問いや願いを大切に、子どもが生涯にわたって、主体的に他者と協働しながら自らの未来に向かい生き抜いていける力の基礎を育みます。
- ◆ 未来を見据えて地域の良さを生かしながら、全ての子どもにとって魅力ある学びの環境づくりを進めていきます。
- ◆ 様々な困難を抱える子ども・若者や家庭を誰一人取り残さず、その特性やニーズに応じた相談等に寄り添ったきめ細かな支援を途切れなく提供します。
- ◆ 子ども・若者の健全な育成を実現するため、ライフステージにあわせた経済的(家計)支援に取り組みます。
- ◆ 安心して利用できる公共施設や社会基盤の整備、通学路安全対策等を子どもの視点を取り入れて整備します。
- ◆ 若者がこの地域に暮らしながら学びを深め、希望をかなえることができる環境の充実に取り組みます。
- ◆ 子ども・若者からの意見聴取や様々な子育て情報発信のツールとして、デジタル技術の活用を推進します。

【参考】基本目標と戦略(考え方)に基づく進捗状況を確認するための指標等及び主な取組(案)

想定する進捗状況確認指標、重要業績評価指標

指標 ①	信州やまほいく認証施設数
指標 ②	乳幼児健診・乳幼児相談の受診率
指標 ③	産後の指導・ケアを十分に受けることができたと回答した人の割合
指標 ④	「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合
指標 ⑤	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合
指標 ⑥	「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合
指標 ⑦	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった」と答えた回答の割合
指標 ⑧	特別な支援が必要なこども(児童生徒)へ何らかの支援や関わりを持って対応している割合
指標 ⑨	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童・生徒の割合

想定する主な取組

想定する主な取組のイメージ	担当・関係課等
<p>◇ 安心して子ども・若者が意見表明、話し合いの場に参加することができ、その意見が反映できる仕組みづくり</p> <p>(1) 子ども・若者から意見を聴くための場や機会を継続的に設け、聴き取った意見を大人も同じ目線で実現できるようにしっかり考えます。</p> <p>(2) 子ども・若者の活動・活躍の場や親子交流施設のあり方を大人も一緒に意見を出し合い考えます。</p> <p>(3) 子ども・若者が自ら学び探究する活動を支援します。</p>	<p>子ども課 公民館</p>
<p>◇ 子どもが欲しいと望む時から妊娠、出産、子育てまでの効果的で途切れない相談・支援</p> <p>(1) 子どもが欲しいと望む夫婦等の希望がかなうよう寄り添い支援をします。</p> <p>(2) 妊娠期から産後、育児期間を通して途切れない相談支援体制の継続、多様化するニーズへ効果的な支援を検討し取り組みます。</p> <p>(3) 子育て中の保護者等の不安や心配ごとに地域資源を活用して相談やサポートできる体制づくりに取り組みます。</p> <p>(4) こどもの放課後や長期休みの居場所づくりの創設及び活動支援を推進します。</p> <p>(5) 地域での分娩機能を堅持するとともに、市民に対し健診や分娩ができる産科医療機関や助産院について情報提供を行います。</p>	<p>子ども課 保育家庭課 保健課 教育委員会 公民館 市立病院</p>
<p>◇ 地育力を活用し、地域の自然や文化、地域との関わりにより、健やかで心豊かな育ちを支える</p> <p>(1) 自然と地域との関わりを大切にする「いいだ型自然保育」の取組を進めます。</p> <p>(2) 民間保育所等と連携し、こどもの育ちや保護者の子育てを支える保育人材の確保と定着に向けた取組を進めるとともに、保育の質の向上を図ります。</p> <p>(3) 地元産や有機農業で生産された食材を使った「地域食材の日」を公立保育園や小中学校の給食で設け、地域の有機野菜等を味わい豊かな心身を育みます。</p> <p>(4) 地育力を活用し、子どもたちの主体性を大切にしながらふるさと学習や体験的な学びを軸として発達段階に応じて切れ目なく支援することで、自らの未来を描き生き抜いていける力の基礎を育みます。</p> <p>(5) 健やかで豊かな心を育むために文化・スポーツ活動を支援します。</p>	<p>保育家庭課 学校教育課 生涯学習・スポーツ課 公民館 農業課</p>
<p>◇ 子どもが主体的に学ぶ力を育む</p> <p>(1) 一人一人の問いや願いを大切にした、主体的な学び(ムトスの学び)を進めます。</p> <p>(2) ICTを活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。</p>	<p>学校教育課 中央図書館</p>
<p>◇ 学校の新たな枠組みとして学園構想の推進</p> <p>(1) 「飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針～第1次～」に基づき、各中学校区内の小中学校を小中一貫教育を進める「学園」として、義務教育9年間の学びの系統性と連続性を高めるとともに、「飯田コミュニティスクール」として地域・家庭も各学園におけるこどもの学びを支え、地域とのつながりを生かした「いいだ未来創造教育(仮称)」を進めます。</p> <p>(2) 引き続き「飯田市これからの学校のあり方審議会」にて調査・審議を進め、第2次、第3次以降の方針の策定を進めます。</p>	<p>学校教育課 公民館</p>
<p>◇ 途切れない発達・療育支援により発達に偏りのある子どもや困難を抱える子どもも、社会に順応しながら特性を生かして活躍できる誰ひとり取り残さない療育・教育環境とライフステージに対応した支援の構築</p> <p>(1) 家族形態の変化、親の価値観の多様化、地域における支え合いの脆弱化などにより子育ての行き詰まりなど困難を抱える家庭に寄り添い、子どもが安心して生活できる療育環境の整備を進めます。</p> <p>(2) 発達に偏りや障害があっても、互いを認め合い、困っている人には手を差し伸べる温かな人間関係のある集団づくりに向けて支援等を進めます。</p>	<p>保育家庭課 子ども課 子ども発達センター ひまわり福祉課 学校教育課</p>

<p>◇ 若者・子育て家庭への経済的支援</p> <p>(1) 若者・子育て家庭の経済的負担の軽減や利便性などライフステージを通じた効果的な経済的支援に取り組みます。</p> <p>(2) 幼少期から飯田の文化・芸術に触れ、豊かな心を育む活動を支援します。</p> <p>(3) ひとり親家庭等の子どもも親も希望する進学や就労がかなえられるよう関係団体と連携した支援に取り組みます。</p> <p>(4) 経済的理由により進学等を諦めることがないよう、子ども・若者の夢を応援します。</p>	<p>保育家庭課 保健課 学校教育課 文化会館</p>
<p>◇ こどもたちが安全・安心に生活ができる環境整備</p> <p>(1) こどもたちが安全・安心に生活ができる環境を整えるとともに、急激な気候変動に対応した施設整備に取り組みます。</p> <p>(2) 子ども・若者が安心して集える都市公園の整備や、子育ての場として地域の魅力ある動物園の環境整備に取り組みます。</p> <p>(3) 「飯田市通学路安全対策アクションプログラム」に基づき、児童生徒が安全・安心して通学できる通学路の安全対策と環境整備に取り組みます。</p>	<p>学校教育課 危機管理課 土木課 維持管理課 保育家庭課</p>
<p>◇ 地域の高等教育に係る環境の充実</p> <p>(1) 地域内外の高等教育機関等との連携により、学びの環境を充実します。</p> <p>(2) 新たな気づきにより学びに対する意欲を高め、自らが持つ可能性を広げることができるよう、大学の研究者等とともに学ぶ機会を提供します。</p>	<p>大学誘致 連携推進室</p>



基本目標 4

自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる

ねらい

- 「環境への取組が文化になるまで」という環境文化都市の理念をより広く普及し、行動変容を促します。
- 製造から使用、廃棄や処理の過程までを含め、需要と供給のバランスがとれた経済活動などによる循環型社会を目指します。
- 地域ぐるみで省エネルギーに取り組むとともに、地域産再生可能エネルギーの創出と利活用を進めます。
- 地域の自然を守り、育み、活用し、自然資本をより良い状態で将来の世代に残します。

戦略(考え方)

- ◆ 環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」を通じて市民に広くアプローチするとともに、地域資源を生かした環境学習を進めることで一人一人の行動変容を促します。
- ◆ サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を視野に入れ、3Rを更に推進するとともに、水などの資源循環利用の研究を進め、消費者、事業者に対しても新たなサイクルについて理解が深まるよう働きかけます。
- ◆ 2050年いまだゼロカーボンシティ実現に向けて、エネルギーの見える化を進め、エネルギーの効率的利用をはじめとした省エネルギーを促進するとともに、グリーン水素利活用の研究や地域産再生可能エネルギーの創出及び利活用を進めます。
- ◆ ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現に向けて、生物多様性への理解を深め、地域の豊かな自然環境の保護及び利活用を進めます。
- ◆ 一人一人の行動変容を促すため、エネルギーの見える化の研究や3Rの啓発に向けた情報発信にデジタル技術を活用します。

【参考】基本目標と戦略(考え方)に基づく進捗状況を確認するための指標等及び主な取組(案)

想定する進捗状況確認指標、重要業績評価指標

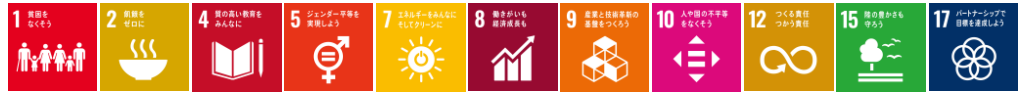
指標 ①	環境に関する学習会や知識を高めるような行事に参加している人の割合
指標 ②	環境文化都市の認知度
指標 ③	一人一日当たり排出ごみ量
指標 ④	リサイクル率
指標 ⑤	エシカル消費を心がけている人の割合
指標 ⑥	二酸化炭素排出量 [2013年比]
指標 ⑦	OECD ^{※1} 国際データベース登録面積

※1：OECD

保護地区でないものの生物多様性を効果的に保全しうる地域のこと

想定する主な取組

想定する主な取組のイメージ	担当・関係課等
<p>◇ 環境意識を高め、行動変容へつなげる「うごくる。」の充実</p> <p>ごみ分別やエコパーク・ジオパークなどの環境学習を含め、環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」のコンテンツの充実を図り「うごくるゼミナール。」「うごくる～む。」「うごくるB。」などにより広く市民に環境意識が高まる機会を提供する。</p>	<p>ゼロカーボン シティ推進課 環境課</p>
<p>◇ エシカル消費や新たなリサイクルの研究などによる3Rのさらなる推進と資源循環の研究</p> <p>(1) エシカル消費の普及促進、分別の徹底などの意識啓発、新たなリサイクルの研究などにより、さらなる3Rの推進に取り組む。 (2) 信州大学と連携して市内の公共施設等での水の循環利用の実装の研究を進める。</p>	<p>環境課 市民課 大学誘致 連携推進室</p>
<p>◇ 省エネルギーの促進と地域産再生可能エネルギーの創出、利活用の推進</p> <p>(1) 無駄なエネルギー使用の削減と効率的な運用により、エネルギー消費量を減らす取組を促進する。 (2) 地域産の再生可能エネルギーを普及拡大させるとともに、その活用を推進し地域のエネルギー自立を図る。 (3) 信州大学と連携して企業等でのグリーン水素の利活用と社会実装に必要な方策の研究を進める。</p>	<p>ゼロカーボン シティ推進課 大学誘致 連携推進室</p>
<p>◇ 生物多様性と自然環境の保全推進</p> <p>地域の固有種や特徴的な自然環境を把握し、OECM国際データベースへの登録を行うなど、生物多様性と自然環境の保全を推進する。</p>	<p>環境課</p>
<p>◇ デジタル技術を活用した3R啓発とエネルギーなどの見える化についての研究</p> <p>(1) ごみの収集及び分別の情報を容易に取得できるスマートフォン用アプリの発信機能を用い、3Rに係る情報提供を行う。 (2) エネルギーやCO₂のついて、デジタル技術の活用による簡略化、見える化等に関する研究を行う。</p>	<p>環境課 ゼロカーボン シティ推進課</p>



基本目標 5

誰もが多様な働き方で活躍でき、
次世代につながる魅力ある産業をつくる

ねらい

- 当地域へ住むことを選択してもらうために、誰もが多様な働き方ができる環境づくりを進めます。
- 地域の全ての産業が成長・発展するように人材不足の緩和と適応を図ります。
- 企業の稼ぐ力を高めることで外貨を獲得し、力強い地域経済を目指します。
- 外部環境の影響を受けにくく環境負荷低減に寄与する地域内経済循環を推進します。
- 既存企業の拡張、新たな企業やオフィス等の誘致により、雇用の場の創出を目指します。

戦略(考え方)

- ◆ 地域の全ての産業を支える担い手を育成・確保するため、若者や親世代に地域産業の魅力を伝えるとともに、誰もが多様な働き方ができ、安心して働き続けられる環境づくりを支援します。
- ◆ 地域産業の更なる成長に向け、企業の稼ぐ力を高めるため、大学等との連携を図り、地域産業の高付加価値化・ブランド化に取り組みます。また、次世代空モビリティ・水素分野をはじめとする新産業への取組とカーボンニュートラルへの挑戦を支援します。
- ◆ 南信州地域が旅の目的地となるように、多様な主体が参画した取組により遠山郷、天龍峡等への誘客を図ります。また、地域固有の風土、人々の営み等の地域の魅力や資源を活用して、サステナブルツーリズムを推進し、関係人口の創出・拡大に取り組みます。
- ◆ 地域の産業において、域内生産・域内発注・域内調達・域内消費により地域からの所得の流出を低減するとともに、外部環境の影響を受けにくく環境負荷低減に寄与する地域内経済循環の取組を推進します。また、農業や林業が持つ多面的機能の理解を深め、豊富な資源や景観を活用する視点から、「農ある豊かな暮らし」を推進します。
- ◆ リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の全線開通を見据えて産業用地等の整備を進め、地域の特性・強みを生かして企業・オフィス等の誘致に取り組みます。また、カーボンニュートラルへの取組を進める環境に配慮した企業の新規立地や拡張を支援します。
- ◆ デジタル人材の育成と情報通信技術関連企業・人材の誘致・確保に取り組み、デジタル技術活用等により事業者の省力化と、生産性・サービス向上の促進を支援します。

【参考】基本目標と戦略(考え方)に基づく進捗状況を確認するための指標等及び主な取組(案)

想定する進捗状況確認指標、重要業績評価指標

指標 ①	新規高校・大学等卒業者の地域内就職率
指標 ②	長野県職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業数
指標 ③	新規就農者数(自営・親元・法人就農)
指標 ④	森林・林業をテーマとした講座の受講生数
指標 ⑤	飯田産業技術大学受講者数
指標 ⑥	I-Port、ビジネスプランコンペにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数
指標 ⑦	市田柿出荷量(南信州)
指標 ⑧	搬出材積(国有林を除く)
指標 ⑨	ネスクイイダ引合件数(全体)
指標 ⑩	製造業の粗付加価値額(飯田下伊那)
指標 ⑪	工業技術試験研究所利用件数
指標 ⑫	観光入込客数(遠山郷を除く)
指標 ⑬	観光地消費額(遠山郷を除く)
指標 ⑭	遠山郷の観光入込客数
指標 ⑮	遠山郷の観光地消費額
指標 ⑯	地元産品の購入状況調査「いつも・時々購入」と回答した割合
指標 ⑰	学校給食に提供する有機米の圃場面積
指標 ⑱	環境に配慮した農産物地域相互認証制度の認定者数
指標 ⑲	市産材の活用支援を利用した建築件数
指標 ⑳	地域ポイントの利用ポイント数
指標 ㉑	ネスクイイダ引合件数(会員間)
指標 ㉒	企業立地・振興補助金交付件数
指標 ㉓	サテライトオフィス補助金交付件数

想定する主な取組

想定する主な取組のイメージ	担当・関係課等
<p>◇ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 若者や親世代が地域の企業や産業への理解を深め、若者が体験する機会を提供し、地元で働くことが将来の進路選択の一つになるような取組を推進します。また、就職後のミスマッチを低減する事業に取り組みます。 (2) 女性のライフステージに応じた柔軟な働き方を実現するため、デジタルキャリア形成と就業支援に取り組みます。また、創業、新事業創出、女性や若者が活躍できる職場づくりや男性の育児休暇取得率の向上などに取り組み中小企業者等の資金繰りを支援します。 (3) 企業の人材不足を補うために、副業・兼業人材の活用や業務の切り出しによるアウトソーシングの促進等による業務効率化と生産性の向上を支援します。 (4) 南信州担い手就農プロデュースが開催する移住就農相談会に参画して担い手を確保するとともに、「地域おこし協力隊」制度を活用して新規就農者を確保します。 (5) 「農ある暮らし」を応援するため、ワーキングホリデー、1日農業バイト及び市民農園等の利用を通して耕作への関心が高い利用者に必要な助言を行い就農へついでいきます。 (6) 専業・兼業等農業形態を問わず、農業経営に意欲のある者に対し、機械購入費への補助を行い農業経営を支援します。 (7) 新たな製品開発や技術力向上に向け、製造現場における技術者・技能者、管理者等の育成と経営者の稼働力を高めるための伴走型の支援を行います。 (8) 信州大学と連携し、エス・バード内の「信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス」の充実や専門的なスキル・技術を持った人材育成に取り組みます。 	<p>産業振興課 共生・協働推進課 農業課 林務課 工業課</p>
<p>◇ 地域の資源を生かした新産業・カーボンニュートラルへの挑戦と地域産業の高付加価値化の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市田柿の販路拡大のため、農業団体と連携して国内外に展開する料理教室との取組の推進や海外進出のための商談・市場調査を進めます。 (2) 南信州牛及び銘柄豚について、認知度の向上や消費拡大につながる取組を進めブランド化を図ります。 (3) ぶどうの施設化を進め、出荷量の増加を目指します。また、他産地との差別化を図るため生産団体と連携した品質の向上を行います。 (4) 農業者の減少、気候変動が著しい中で、新たな品目の栽培や農作物の栽培方法の研究を農業団体等と連携して実施します。 (5) 二酸化炭素の吸収作用を高めることにつながる森林整備を進めるため、架線集材やスマート林業の導入など林業経営の合理化を支援します。また、産出材全ての有効活用を図るとともに、Jクレジットの導入を含め環境と森林資源の価値を高める取組を進めます。 (6) エス・バード内工業技術試験研究所でのISO/IEC17025に基づく認定試験等の積極的な受託により、研究所の機能強化を図ります。 (7) 航空機電動化・次世代空モビリティ分野のニーズ等に対応したノウハウや研究支援体制が構築された地域として、事業化に向けた支援を進めます。 (8) 信州大学がエス・バードで予定するグリーン水素・水循環の実証タウン事業に参画し、関連企業等の立地や地元企業の参入を支援します。 (9) 南信州の地域資源を活用した商品開発などへの支援を行い、地域資源のブランド化・高付加価値化に取り組みます。 	<p>農業課 林務課 工業課</p>
<p>◇ 多様な主体が参画した取組によるサステナブルツーリズムの推進</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然、歴史・文化、民俗芸能など多様な地域資源を人との交流を通して理解を深めるツーリズムや農家民泊、農業・地域行事など暮らしやコミュニティを体験する滞在交流型観光を地域、南信州観光公社等と連携して推進します。また、広域連携等によるインバウンドへの取組にもつなげていきます。 (2) 天龍峡エリア、西部山麓エリアに広がる自然環境、地域資源を活用した体験活動やツーリズムによる誘客を図るとともに、安全・快適に楽しめる環境の整備、受入体制の強化に地域・関係団体等と連携・協働して取り組みます。 (3) 道の駅遠山郷の令和7年秋のグランドオープンに向けて整備を進めるとともに、南アルプスエコ登山やしらびそ高原を中心とした山岳高原観光を推進して、遠山郷への誘客を促進します。 	<p>商業観光課 遠山郷観光振興室</p>

<p>◇ 地域内経済循環の推進</p> <p>(1) 地域内での発注、調達を促進するため地域内事業者同士の連携を支援します。また、庁内関係部署と連携した、地域ポイント付与による地域通貨の実証実験及び地域内の消費拡大に向けた行動経済学の介入による事業を推進します。</p> <p>(2) 地域内の蓄ふん、食品残渣、きのこ廃培地等を利用した堆肥を製造し、投入することで良質な土づくりを推進します。</p> <p>(3) 地域内で製造した良質な堆肥を使用することで化学肥料の利用割合を低減させ、環境に配慮した農業を進めるための環境を整えます。また、地域内農産物相互認証制度の普及を進め、認証された農産物の地域内での流通、消費につながる取組を行います。</p> <p>(4) 市田柿の加工残渣等、地域内の未利用資源を利用した飼料や資材の製品化を進め、地域循環型農業を推進します。</p> <p>(5) 林業関係団体や事業者等と連携して、個人住宅、多数の者が利用する民間建築物、公的施設等への市産材(認証材含む)の利用を促進します。</p> <p>(6) 架線集材、ドローンやIT技術などの活用、高性能林業機械の導入など林業経営の合理化を支援し、二酸化炭素の吸収作用を高めることにもつながる森林整備を進めます。また、産出材全ての有効活用を図るとともに、Jクレジットの導入を含め環境と森林資源の価値を高める取組を進めます。</p> <p>(7) 搬出間伐や主伐・再造林を進めるために、森林の集約化方針を定めて方針に基づいた意向調査や境界明確化を進め、森林整備の団地化を図ります。</p> <p>(8) 多様な主体の参加による竹林・里山整備活動を支援し、地域の景観形成を推進します。</p> <p>(9) (公財)南信州・飯田産業センターのネスクイダを中心に、販路開拓による域外からの受注獲得、域内受発注の促進、地域内企業の連携による製品開発を支援します。</p>	<p>産業振興課 農業課 林務課 商業観光課 工業課</p>
<p>◇ 企業誘致、オフィス誘致の推進</p> <p>(1) 山本インター産業団地(仮称)の整備に取り組み、活力ある産業拠点を創出します。</p> <p>(2) リニアビジョンにおける座光寺SIC周辺の研究開発型企業・機関等の誘致や本社機能の移転、エス・バードからリニア駅までのサステナブルオフィスゾーンの形成に向けた検討を進めるとともに、中心市街地等においても、サテライトオフィス等のオフィス誘致に取り組みます。</p> <p>(3) カーボンニュートラルへの取組を進める環境に配慮した企業の新規立地や拡張を支援します。</p>	<p>工業課</p>
<p>◇ デジタル技術を活用した地域課題の解決や人材育成の取組</p> <p>(1) 地域内の産業人材不足に対応するため、デジタル人材の育成と確保を積極的に進め、デジタル技術の活用による事業者の省力化・自動化、生産性・サービス向上等を関係機関とともに支援します。</p> <p>(2) デジタル技術を活用して気候変動や農作業の省力化に有効な製品の研究を、関係機関と連携して行います。</p>	<p>産業振興課 農業課 工業課</p>



基本目標 6

誰もが生涯を通じて

その人らしく暮らすまちをつくる

ねらい

- 地域や行政等の多様な主体が一体的に役割を發揮し、お互いが認め合い地域や社会とつながって支え合う「地域共生社会」を構築します。
- 健康増進・介護予防に取り組み、心身ともに健やかに生涯現役で活躍できる「市民総健康・健康長寿」のまちづくりを推進します。
- 医療・福祉の提供体制を維持し、市民が必要な時に必要なサービスを受けられるよう、またニーズの多様化・複雑化にも対応できるよう努めます。

戦略(考え方)

- ◆ 共に支え合い、助け合い、誰もが住み慣れた地域で暮らすことができる地域共生社会の実現を目指して、多様な主体と協働し、地域福祉を推進します。
- ◆ 福祉課題を抱えた市民の孤立を防ぐため、多様な主体が連携して問題解決を目指す仕組みを構築し、世代や属性を超えた交流の場や個々のニーズに応じた居場所を整備するとともに、アウトリーチ^{※1}等を通じた支援をします。
- ◆ 研修会や広報活動等を通じて、市民の障がいに対する正しい理解を深め、障がい者が安心して地域で生活し、社会参加できるよう、差別や虐待のないまちを目指します。
- ◆ 全世代に向け自身の健康維持や健康増進の取組を推奨し、年代に応じた健康づくりの取組により、生活習慣病予防や重症化予防、歯周病予防及び将来の介護予防を推進します。
- ◆ 高齢者が自分らしく充実した生活を目指し、健康づくりや介護予防、重度化防止に意欲的に取り組み、積極的に地域や社会で活躍するよう支援します。
- ◆ 医療・介護サービスの提供体制を維持するため、担い手の確保や従事者の離職防止、関係団体との連携強化に取り組みます。
- ◆ デジタル技術の活用により、市立診療所などの医療体制の充実を図ります。

※1：アウトリーチ

必要な支援が届いていない人に支援を届けるための様々な働きかけのこと

【参考】基本目標と戦略(考え方)に基づく進捗状況を確認するための指標等及び主な取組(案)

想定する進捗状況確認指標、重要業績評価指標

指標 ①	近所の人と支え合うことを実感している人の割合
指標 ②	ひきこもり家族学習会への参加促進
指標 ③	障がい福祉の理解啓発
指標 ④	健康寿命
指標 ⑤	国民健康保険加入者の特定健診受診率
指標 ⑥	20歳、30歳、40歳の歯科健診受診率
指標 ⑦	要介護認定出現率
指標 ⑧	初回要介護認定時の平均年齢

想定する主な取組

想定する主な取組のイメージ	担当・関係課等
<p>◇ 地域福祉の推進</p> <p>(1) 地域福祉コーディネーターとの連携を強化するとともに、地区で取り組む好事例や先進事例の未実施地区への横展開を図るなど課題解決に向けた取組につなげます。</p> <p>(2) 民間事業者、地域等の社会全体による見守り体制を構築するとともに、ごみ出し困難世帯に対する支援の拡充など生活課題の解決に取り組みます。</p> <p>(3) 地区の特性を生かした取組を推進するとともに、各地区における課題解決に向けた取組を支援します。</p>	福祉課
<p>◇ 福祉まると相談窓口の充実化と相談支援体制の強化</p> <p>(1) 断らない相談窓口としての機能を強化するとともに、広く市民に周知し、困りごとを抱えた人を適切な機関等につなげます。</p> <p>(2) ひきこもり家族の学習会の充実化を図るとともに、アウトリーチ、伴走型支援など、当事者や家族に寄り添った支援を行います。</p> <p>(3) 支援が届いていない人に支援を届け、個々のニーズに応じた居場所の整備に取り組みます。</p>	福祉課
<p>◇ 障がい福祉の推進</p> <p>(1) いいだ障がい福祉プラン2024に基づき、市民の障がいに対する正しい理解を深め、差別や偏見、障がい者虐待をなくすための取組を進めます。</p> <p>(2) 障害者差別解消法における事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供について、理解を深めるとともに、市民への啓発を行います。</p> <p>(3) 障がいの程度や種類によって不利益がなく、情報取得する方法を選択できるような環境を整備していきます。</p> <p>(4) 地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センター設置に向け関係機関とともに検討を行います。</p> <p>(5) 医ケア児等コーディネーターを中心に医ケア児等の実態を把握し、個々の状況に応じた支援につなげます。</p>	福祉課 こども課
<p>◇ 全世代に向けた健康づくり</p> <p>(1) 市民が健康に関心を持ち、自分に適した運動・食生活・口腔衛生習慣を理解し実践できるよう取り組みます。また、食育推進計画に基づき、朝食欠食などの課題解決を含む食育を推進します。</p> <p>(2) 国保被保険者の生活習慣病発症と重症化を予防するため、特定健診の受診勧奨とその結果により必要な特定保健指導を実施します。</p> <p>(3) 職場等で検診(健診)機会のない市民が、がんを早期発見し、早期治療できるよう支援します。</p> <p>(4) ドナー登録の勧めや、がん治療によって生じる外見変化に対する支援を行います。</p> <p>(5) 各地区まちづくり委員会の健康福祉委員等が地区の健康課題を学び、その課題解決に向けた活動が展開できるよう支援します。</p>	保健課
<p>◇ 介護予防の意識醸成</p> <p>(1) 市民が積極的かつ継続的に介護予防(特にフレイル予防)に取り組めるよう、「通いの場」等の参加者とサポーターに対して健康ポイント事業を継続し、介護予防に対する意欲を高めます。</p> <p>(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組を強化し、疾病予防、重症化予防及び介護予防の切れ目ない支援により、高齢者の心身機能低下の抑制を推進します。</p> <p>(3) 事業対象者、要支援認定者に通所及び訪問サービスを提供することにより、介護予防、重度化防止を推進し、在宅生活の継続を目指します。</p>	保健課 長寿支援課
<p>◇ 地域における高齢者の支援体制の整備</p> <p>(1) 日常生活圏域全てに地域包括支援センター設置を目指し、7つ目の地域包括支援センターを新規開設するとともに、日常生活圏域全てに設置したセンターが、医療、介護等の関係機関と連携して高齢者の地域包括ケアを推進します。</p> <p>(2) 生活支援コーディネーターが、地域の実情に応じて「通いの場」の支援や介護予防の体制整備を推進するとともに、高齢者が活躍する地域づくりに取り組みます。</p>	長寿支援課

<p>◇ 地域医療への支援</p> <p>(1) 飯伊医療圏の医療体制の調整を担う飯伊地区包括医療協議会の運営を支援します。</p> <p>(2) 飯伊医療圏域の休日・夜間の医療体制について、飯田市休日夜間急患診療所を運営するとともに、在宅当番・輪番制により確保します。</p> <p>(3) 千代・三穂・上村・南信濃の各診療所及び上村歯科診療所を運営します。</p> <p>(4) 予防接種対象者のうち、希望する方に接種を実施するとともに、接種機会を安定的に確保するため、対象者に対する接種勧奨と制度周知を行います。</p> <p>(5) 地域の医療機関と市立病院との密接な連携により、地域医療体制を支援します。</p>	<p>保健課 市立病院</p>
<p>◇ 介護人材確保に向けた支援</p> <p>新たな職員の確保や離職防止に寄与できるよう、就労環境の改善や職員確保につながる補助、雇用につながる機会の創出等、側面的支援に取り組みます。また、有資格者の確保が困難であることを背景に、資格を有しない介護助手や外国人の雇用促進につながる機会を提供します。</p>	<p>長寿支援課</p>



基本目標 7

リニア・三遠南信道時代に向けた まちの基盤をつくる

ねらい

- リニアの整備効果を地域振興に活かすため、リニア中央新幹線開業や三遠南信自動車道開通を見据えた土地利用の誘導を図ります。
- 近い将来リニア中央新幹線や三遠南信自動車道を利用した方々が利便性を感じられる地域に向け、自然と調和した駅前広場や広域的道路ネットワーク等の都市基盤を強化します。
- 次世代モビリティやデジタル技術を活用したリニア二次交通の検討を進めるとともに、利用者目線からの持続可能な地域公共交通を構築します。
- デジタル技術を様々な課題の解決、新たな価値やサービスを創出する”変革の手段”として活用し、DX(デジタルトランスフォーメーション)による持続可能な社会の創造を目指します。

戦略(考え方)

- ◆ リニア中央新幹線開業や三遠南信自動車道開通を見据えた土地利用や景観のあり方を全市的な視点で検討を行うため、まずはリニア駅周辺及びその近郊における喫緊の課題から検討、見直しに取り組みます。
- ◆ リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすため、関連道路等の整備による広域的道路ネットワークの強化を図るとともに、リニア開業の遅延に関わらず選ばれ訪れたくなるような地域の形成を目指した拠点間道路ネットワークの整備を推進します。
- ◆ リニア駅前広場の一部供用に向けた運営方法の検討を行うなど段階的な活用を目指し、関係機関等との調整を図るとともに関係者等の意向や環境影響等に十分配慮しながらグリーンインフラ^{※1}等の考え方を取り入れ自然と調和した利便性の高いリニア駅前広場の整備を進めます。
- ◆ リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通に向けた機運醸成を図るため、市民への適時適切な情報を発信します。
- ◆ 次世代モビリティ^{※2}やデジタル技術を活用し、目的地へスムーズにいざなうことができるリニアからの二次交通の検討を進めるとともに、路線ごとの利用特性やニーズの把握を行い利用者目線からの持続可能な地域公共交通の構築に取り組みます。
- ◆ デジタル技術を様々な課題の解決、新たな価値やサービスを創出する手段として活用し、行政及び各施策分野における社会のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するために必要となる共通の基盤や推進体制の構築に取り組みます。

※1：グリーンインフラ

緑地や水辺、緑の回廊、透水性舗装等により自然が持つ多様な機能を最大限に活用し、都市や地域における様々な課題解決を目指す新しい社会資本整備の考え方

※2：次世代モビリティ

自動運転技術による自動車や電気自動車、空飛ぶクルマ、電動キックボード等、従来の自動車や公共交通機関とは異なる、新しい概念の移動手段のこと

【参考】基本目標と戦略(考え方)に基づく進捗状況を確認するための指標等及び主な取組(案)

想定する進捗状況確認指標、重要業績評価指標

指標 ①	リニア駅前広場整備の整備率(整備可能部分)
指標 ②	座光寺S I C関連道路の整備率
指標 ③	公共交通利用者数
指標 ④	住民へのリニア中央新幹線に関する情報発信回数(説明会・広報等)
指標 ⑤	地域DX推進ロードマップの策定にあわせて設定予定

想定する主な取組

想定する主な取組のイメージ	担当・関係課等
<p>◇ リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し</p> <p>土地利用基本方針に掲げる拠点集約連携型都市構造^{※3}の推進と、山・里・街の豊かで多様な暮らしの実現に向けて、適正な土地利用や景観の誘導策の検討に取り組みます。</p>	<p>地域計画課 リニア整備課</p>
<p>◇ 関連道路等の整備による広域的道路ネットワークの強化、及び観光や産業立地選択・居住地選択等において、選ばれ訪れたいくなるような地域の形成を目指した拠点間道路ネットワークの整備の推進</p> <p>(1) 市全域及び南信州地域全体の広域的道路ネットワークの強化の観点から、各同盟会の活動等を通じ三遠南信自動車道をはじめとする国道や県道の早期整備に向けた取組を推進します。</p> <p>(2) リニア開業や三遠南信道開通を見据えた観光や産業立地選択、居住地選択において選ばれ訪れたいくなるような地域の形成を目指し拠点間の道路ネットワーク及びリニア駅・座光寺 S I C 周辺の道路整備を推進します。</p>	<p>土木課 国県関連事業課 リニア推進課 リニア整備課</p>
<p>◇ 関係者等の意向や環境影響等への十分な配慮を行いながら、リニア駅前広場の一部供用を行うなど段階的な活用を目指した整備</p> <p>(1) リニア開業の延期を受け、リニア駅前広場の実施設計の状況を踏まえながら、地権者等をはじめとする地元地域住民に対し環境への影響等に最大限配慮し、関係地区及び関係機関と協議調整を行い、整備できる部分の整備を進め、一部供用を目指し事業を進めます。</p> <p>(2) リニア駅前広場の効果的な活用に向け、関連自治体の意向や民間等多くのステークホルダーの考えやノウハウ等も反映・活用しながら、リニア開業までの活用方法や維持管理等も含め検討し、一部活用を目指します。また、リニア開業に向けた「交通・エネルギー」、「駅前空間整備」、「魅力発信」等の分野でも具体的な機能の実装に向けた検討を行います。</p>	<p>リニア整備課 リニア推進課 リニア用地課</p>
<p>◇ リニア・三遠南信道に対する機運醸成を図るための市民への情報発信</p> <p>リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通に向けた機運醸成を図るため、事業の進捗状況や計画の内容について適時的確な内容と多様な手法での情報発信を行います。</p>	<p>リニア整備課 リニア推進課 国県関連事業課</p>
<p>◇ 次世代モビリティやリニア二次交通の検討と持続可能な地域公共交通の構築</p> <p>(1) リニア開業の遅延により、より現実的となる次世代モビリティのうち、最も実現の可能性が高い自動運転の技術について、実証実験等を重ねレベルアップを図りつつ、地域公共交通での自動運転活用の可能性について検討します。</p> <p>(2) 都市圏に向かうリニア利用者のリニア駅へのアクセス、都市圏から来訪するリニア利用者を様々な拠点にいざなうための交通手段等、利便性が高い二次交通の実現に取り組みます。</p> <p>(3) 住民の日常生活に欠かせない移動手段である地域公共交通の利用者の増加に向け、利用者のニーズを把握し交通事業者と協議を行いながら利便性向上のための改善に取り組みます。</p>	<p>リニア推進課</p>
<p>◇ 行政及び社会のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するために必要な基盤や連携推進体制の構築</p> <p>(1) 電子申請などのオンラインによる市民サービスの拡充と、デジタルのまま完結できる内部事務システム基盤を構築し、オンラインサービスと連携した効率的な事務処理への移行を進めます。</p> <p>(2) 誰もがデジタル技術による利便性を享受できるように人材育成を図るとともに、デジタル技術を活用して各施策分野の課題の解決に取り組むためのデータ基盤の整備や、産学官民との連携推進体制の構築に取り組みます。</p>	<p>デジタル推進課</p>

※3：拠点集約連携型都市構造

中心拠点(中心市街地)、地域拠点(自治振興センター、公民館)、交流拠点(天龍峡、遠山郷)、広域交通拠点(リニア駅周辺)がそれぞれの役割に応じて機能分担がなされ、有機的に相互連携した持続可能な都市構造の形成を図る考え方